

年頭のご挨拶

恩納村長
長浜 善巳



村民の皆様、明けましておめでとうございます。皆様には、健康で希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、村行政全般にわたりましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、多くの村民の皆様からご信任を賜り、3期目の村政運営を担わせていただくことになり、その使命と責任の重さに身の引き締まる思いであります。皆様から寄せられた大きな期待をしっかりと受け止め恩納村の新たな魅力を発信しながら、村民と行政の協働による持続可能なむらづくりに取り組みたいと思います。そんな中、「恩（めぐみ）の青 豊かな緑 輝く人々 未来へつなごう恩納村」を将来像に、本村の自然豊かな環境、歴史・文化など、魅力ある地域資源を充分に活かした、観光交流事業等を推進し、村民や地域、事業者、各種団体の皆様と行政が一緒になって、知恵と工夫を凝ら

し、他地域とは一味もふた味も違う存在感のある「おんなブランド」を構築していくため「第6次総合計画・前期基本計画」及び「恩納村デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に職員と一丸となって計画の達成に向けて努力し、各種施策を実施してまいりますので、村民の皆様におかれましてもご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、改めて昨年を振り返りますと近年、自然災害が頻発化・激甚化のなか全国各地では35℃以上の猛暑日が連日観測されるなど、気候変動影響が避けられない場合、今後、いつ来るか予測のつかない災害に対して一層の備えが必要であると強く認識いたしました。

県内に目を向けて見ますと、昨年8月に沖縄県を襲った大型で非常に強い台風6号により、県内では二度にわたり暴風警報が発令され、倒木や土砂災害、強風による農水産業施設の被害がありました。また、村内各地で停電が発生し、復旧するまでに7日間を要するなど商店や観光関連産業にも甚大な被害をもたらしました。災害対応に当たった各関係機関や村内事業所の皆様には、地域住民の生命と暮らしを守るために昼夜を問わず、長時間にわたって対応いただいたことに感謝とお礼を申し上げます。そして、恩納村の豊かで美しい自然環境

を保持し、子や孫といった次世代へ継承していくためにも、自然災害はどこでも起こりうることを前提に、村民の皆様と共に柔軟で機能的な災害配備体制を構築してまいります。また、2020年から猛威をふるった新型コロナウイルスもようやく落ち着きを見せ、村のイベントをはじめ学校行事や各地域の行事も再開され、3年余りにわたって停滞していた村民生活、社会経済活動も以前の姿を取り戻すとともに、観光関連業界にも活気が戻り、国内だけでなく海外からの観光客も多く見かけるようになりました。そんな中、全国から多くのご支援を頂いている「恩納村ふるさとづくり応援寄附金」や「企業版ふるさと納税」の寄付金額も増え続けており、今後さらなる増額が期待できます。今年も、魅力あるむらづくりや特産品をはじめ、リゾートホテル宿泊券など、全国の皆様から恩納村を応援していただけるよう取り組みでまいります。また、村民の幸せな生活を確かなものにするため、新鮮な心持を忘れず、魅力あるサンゴの村・SDGs未来都市の推進に向けて人材の育成・確保に努めたいと思います。結びに、本年も皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます、新春の挨拶といたします。